

## 警視庁音楽隊 ニューヨーク公演

東京都の警視庁音楽隊が、本年 10 月に開催された「世界のお巡りさんコンサート」(毎日新聞社主管)等に参加するため、ニューヨークを訪問しました。本稿では、同隊の当地での活動概要について紹介します。

### 1 公演日程

- 10月10日(日) 世界のお巡りさんコンサート (於カーネギーホール)
- 10月11日(月) コロンバスター・パレード (於5番街)
- 10月12日(火) 屋外コンサート (於ニューヨーク日本人学校)

### 2 世界のお巡りさんコンサート

世界の警察音楽隊が音楽演奏を通じて交流を深めるため、平成 8 (1996) 年に初めて東京で開催されて以降、本年で 15 回目を迎えた。過去に日本国内で 6 回、海外では 8 回開かれ、ニューヨークでの開催は平成 12 (2000) 年以来 2 回目。

### 3 警視庁音楽隊

昭和 23 (1948) 年発足以来、東京都民と警察を結ぶ「音の架け橋」として、翌 24 年からスタートした日比谷公園での「水曜コンサート」をはじめ、幅広い演奏活動を行っている。今次公演には、MEC (カラーガード) を含む総勢約 60 名が参加した。



### 4 公演概要

#### (1) 世界のお巡りさんコンサート

音楽の殿堂「カーネギーホール」(2,800 人収容)で行われたコンサートには、在ニューヨーク総領事館の西宮大使、ニューヨーク市警(以下、NYPD)のケリー長官をはじめ、多くの在留邦人やニューヨーカーが会場に足を運び大盛況であった。

コンサートは、警視庁音楽隊による日本情緒溢れる演奏と MEC の艶やかなフラッグ演技を皮切りに、中国首都警察楽団(以下、中国隊)が民族的な弦楽器や伝統衣装をまとった舞踊、次いで NYPD 音楽隊によるジャズや華麗なドラムラインなどが披露された。締めくくりの 3 隊合同による「ニューヨーク・ニューヨーク」の演奏では、観客が総立ちとなり、会場の興奮はピークに達した。



## (2) コロンバスター・パレード

1492年、コロンブスの北米大陸到達を記念して、毎年行われるパレード（10月第2月曜）に前述の3隊が参加した。マンハッタンの目抜き通り5番街を沿道から歓声を受けながら、約30ブロック(2.5km)にわたり行進した。



5番街でのパレード



タイムズスクエアでの演奏

その後、タイムズスクエアで20分間、各隊がそれぞれ演奏を行った。警視庁音楽隊はMECが半被を着て華麗な舞を披露して聴衆を沸かせたほか、中国隊、NYPD音楽隊が個性溢れる演奏を行い、観衆を魅了して全ての合同公演が終了した。

## (3) ニューヨーク日本人学校での屋外コンサート

警視庁音楽隊の単独公演であったが、後述のとおり、同隊が乗車するバスが道に迷って公演開始が遅れたものの、怪我の功名と言うべきか、危ぶまれた天候も終盤には日が差し始め、青空の下での演奏会となった。同校の校歌など子どもたちが親しみやすい曲が選曲され、芝の上で演奏を楽しむ生徒らは、局に合わせて手拍子をしたり、歌を唄うなど、前日までの公演とは、ひと味違った雰囲気であった。終了後には、指揮者である小林隊長やバンドマスターが生徒から質問攻めに会うなど、和やかなうちに全公演日程を終えた。



日本人学校での演奏

## 5 ハプニング編

### (1) NYPDの出迎え／見送り

アメリカの人々は、サプライズが大好き。NYPD音楽隊員は、忙しい勤務の合間を縫って、警視庁音楽隊を空港ロビーにて出迎え、そして見送り、(勝手に?!)一番盛り上がっていた。また、同隊滞米中は、NYPD隊員が一行に付き添うなど、彼らのホスピタリティーには頭が下がるばかりであった。ただ、隊員達からは「自分たちも、日本では助けられて



NYPDの愉快的仲間たち

ている」と逆に感謝され、警察官としての強い絆を感じずにはいられなかった。

## (2) 添乗員兼通訳が飛行機に乗り遅れ?!

公演前日に米国入りする予定だった中国隊の添乗員兼通訳（日本語）が 1 人だけ飛行機に乗り遅れるという事態が発生し、深夜（午前 4 時頃）に叩き起こされた旅行代理店社員は真っ青。結局、その添乗員兼通訳氏は、公演前夜の最終打ち合わせには間に合わず、関係者は日本語⇄英語⇄中国語での会話に一苦労。当の本人は、公演当日、悪びれる風もなく平然としていた。これも国民性の違いか。

## (3) パレードに参加できない?!

コロンバスデー・パレード当日。開始まであと 30 分という頃、同パレードの事務局を名乗る男性 2 人に「なぜ（警視庁音楽隊が）ここにいる。参加団体名簿にも載っていない」と言い掛かり?を付けられた。「窓口の NYPD に聞いてくれ」と伝えても、「NYPD も名簿に載ってない」の一点張りで「奴らはいつもそうだ」とブツブツ言うのみ。NYPD 側が対応して前述のとおり無事パレードには参加できたが、我が方にとっては「何なんだろう??」であった。

## (4) ドライバー、道に迷う?!

NY 日本人学校への道すがら。到着予定時刻間近になって、バスの運転手が道に迷ってしまったことが判明。楽器を運んでいるトラックも同様に道に迷い、結局、日本人学校の配慮で公演時間を繰り下げることになった。当初、コンサートを鑑賞する予定であった同校に隣接するユダヤ人学校の生徒らの多数は、残念ながら鑑賞できなくなってしまった。運転のプロとして…と言うのは当地では少し酷か。

## 6 所感

今次ニューヨーク公演には、チケット手配の段階から携わるなど、かけがえのない、そして何よりも（仕事を忘れ?!）楽しい経験をした。同じ組織（警視庁）に属していながら、音楽隊に関する知識はないに等しかったが、公演に同行して隊員の演奏（演技）に対する真摯な姿勢、観客の弾けんばかりの笑顔を目の当たりにし、まさに彼らが「市民との架け橋」としての確固たる役割を担っていることを再認識した。

最後に、この場をお借りして、本公演にあたり、ご支援、ご協力をいただいた全ての関係者の皆様に改めて感謝申し上げたい。



（中嶋所長補佐 警視庁派遣）